

## 祝 詞



## 正史を礎に新たな創造を

西日本学生レスリング連盟

会 長 岩野 悦真

同志社大学教授

同志社大学レスリング部・部長

関西大学レスリング部が、昭和24年に関西学生レスリング連盟に加盟して春季リーグ戦に出場し、関西学院大学、同志社大学を制して初優勝され、それから50年の歴史が始まりました。爾來、今日まで、栄光に輝く「戦績」の道を歩み通され、いま大きくその半世紀を顧みられる時を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。まことにおめでとうございます。

レスリングは昭和20年に復活しましたが、それは外来スポーツの活動中止という戦時中の歴史を経てのことでした。終戦直後は、GHQ政策によって、裏腹に柔道がその活動を禁止されました。関西大学レスリング部はこの歴史的な狭間に「礎」を築くことになります。大阪の柔道指導者だった明治大学柔道部元部長の小田原徳善氏（故人）や、明治大学レスリング部OBで当時の全日本チャンピオンだった村田恒太郎氏や、それに名門大阪市立高校の柔道部員やレスリング部員などが関係する人間模様のなかで、柔道部員がレスリング愛好家となって、脈絡が整っていきます。この大阪市立高校から巣立った愛好者が、当時関西大学の体育会委員だった山本雅之氏（大阪市立高校OB・故人）の創設努力に呼応して、関西大学レスリング部の歴史が始まったのだと聞いております。

関西大学の当時の練習場は、千里山キャンパスグラウンドの青空道場であり、天六学舎地下の教室でありました。条件は未整備でしたが、当時の青年学徒の「心意気」がすべてを克服して、こ

に、関西大学レスリング部が始動したのです。

関西大学は、西日本学生リーグ戦において、春季・秋季をとおして、27回の優勝という輝かしい成績を挙げてこられました。個人でも全日本選手権大会、全日本学生選手権大会などにおいて、多くの優勝者、入賞者を輩出しておられます。特に東京オリンピック大会グレコローマンレスリング57Kg級で優勝されました市口政光氏（現東海大学教授）は特筆すべき功績を残されました。

半世紀の間、部を支え、発展させてこられたのは、歴代にわたる部員の方々の努力、忍耐、精神、そして技術の錬磨のたえざる積み重ねによるものと思います。また、その間の、ご指導とご援助を惜しまなかった数多くの先輩諸氏のご尽力の賜物です。またOB諸氏は、日本のレスリング界並びに学生レスリングのために、多大な貢献をされ、常にリーダーシップを発揮されてこられました。

いま関西大学は、あの大学紛争を遠因として、2部リーグに低迷しています。関大、関学、同志社は創部当時から凌ぎを削って闘い、その「礎」を築いてきたのです。しかし現在ではこれら3大学とも不振であります。いま一度、これら3大学が、一つのマットの上で相競って、斯界をリードする時代を再現したいものと念願しています。

現役諸君がこの半世紀にわたる足跡を示す「正史」のもとに、新しい礎を創造し、関西大学レスリング部がさらに力強く発展されんことを祈念しながら、お祝いの言葉といたします。